

未使用印影の処理方法

【報告先】 登録郵便局

【報告内容】 ①打ち損じた印影部分

※打ち損じた印影は、「郵便局名」「郵便料金」「印字した日付」が
確認できる状態であること

②計示額報告書（下記の記入例参照）

【報告期日】 打ち損じた印影をスタンプした日付の翌日まで

※期日を過ぎてからの提出は承認されません

郵便料金計器計示額報告書（ ○ 月 分 ）

日付印

提出年月日 ○○○○年 ○月 ○日
使用者氏名 会社名 印

郵便料金計器の
略称及び番号 例) IS350
ND40XXX

打ち損じた金額をまとめて記載

郵便料金計器計示額		摘要
前回表示額 (1)	円	
今回表示額 (2)	円	
計示額 ((1)と(2)の差額) (A)	円	
未使用印影の個数・金額 (B)	380 円	@80×3 @140×1
減額を受けた金額 (C)	円	
郵便料金額 ((A)-(B)-(C)) (D)	円	
承認使用金額 (E)	円	
今回予納金額 ※(E) - ((E)-(D))	円	

摘要欄に郵便種別の単価と個数を記入

※計示額報告書と共に、打ち損じた印影部分も必ず登録郵便局にお持ち込みください。

月末の計示額報告書記入例

毎月末、郵便料金計器で使用された金額を計示額報告書に記載し、登録郵便局へ提出します。

機械画面例)

ザンガク	24370
シヨウルイケイガク	175630
ツウスウ	1981

郵便料金計器計示額報告書 (○ 月 分)

日付印

提出年月日 ○○○○年 ○月 ○日
使用者氏名 会社名 印

郵便料金計器の
略称及び番号

例) IS350
ND40XXX

郵便料金計器計示額		摘要
前回表示額 (1)	99,810円	前月郵便局に提出した計示額報告書に記載した「今回表示額」を記入
今回表示額 (2)	175,630円	
計示額 ((1)と(2)の差額) (A)	75,820円	
未使用印影の個数・金額 (B)	380円	その月に報告をした未使用印影の合計金額を記入
減額を受けた金額 (C)	円	
郵便料金額 ((A)-(B)-(C)) (D)	75,660円	
承認使用金額 (E)	100,000円	
今回予納金額 ※(E) - ((E)-(D))	円	

※その月に郵便料金計器で使用した合計金額から、未使用印影の金額を引いた金額が、お客様へのご請求額となります。